

国際機関名 (英語略称)	持続可能な農業機械化センター (CSAM)		
英文名称	Centre for Sustainable Agricultural Mechanization (CSAM)		
種 別	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関		
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部海外投資・協カグループ/生産局技術普及課生産資材対策室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部所在地: 中国(北京)			
活動目的等: 2002年に国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)の下部組織として設立され、持続的な農業機械化に関して、情報交換、知識共有、研究開発の促進等を通じて加盟国間の技術協力を推進することを目的としている。			
【当該国際機関の財政(2017年)】(千米ドル) 出典: Report of Governing Council of CSAM (2017)			
	総収入(千米ドル)	総支出(千米ドル)	
分担金・義務的拠出金			
任意拠出金	4,416	1,140	
会計年度: 暦年(1月～12月末)			
会計検査機関名: (構成員の出身国:)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2017年のもの)】 出典: Report of Governing Council of CSAM (2017)			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	中国	1,720	83
2位	日本	263	13
3位	インドネシア	30	1
4位	フィリピン	30	1
5位	タイ	15	1
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(年のもの)】 出典:			
	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: アジア太平洋地域農業機械試験ネットワーク拠出金、農林水産省(B票参照)			
【当該国際機関で働く邦人職員(2017年12月末時点)】			
邦人職員数	0人	当該機関全体の職員数	7人
うち幹部以上	うち 人	及び邦人職員が占める率	0%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職員氏名	備考	
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
【備考】			